

平成23年11月4日

保護者 各位

須賀川市立西袋第二小学校長 安藤 勇司

「暗唱活動」への取り組みについて

落葉の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり実施いたします。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 ねらい

児童の可能性をさぐる一手段とする。(ひとり一人、何かに優れている)
やれば出来る経験をさせ、自信を持たせる。また達成感を味わわせる。
多くの名文に触れることにより、感性を高める。(文学への関心を高める。)
人前で大きな声で話せるようにする。

2 取り組み方法

全校生に、暗唱作品(60作品)を印刷したファイルを配る。(本日配布)
自分で選んだ作品を練習して、できるようになったら家の人の前で発表する。
「合格」の判断が出たら家の人の「印」または「サイン」をもらう。
校長室で2次テストを行い、「合格」と言われて一つの作品の暗唱が終了する。
テストは、朝や業間、昼休み、放課後の時間とする。
どの作品から取り組んでもよい。
全校朝の会で時間があるときは、やってみたい児童数名に発表の機会を与える。
60作品を10作品ずつに分け、一つの単位を合格した場合は、児童を励ます意味で賞状を与える。

3 その他

「合格」の基準

- ・ 大きな声で暗唱できること。
- ・ 間違わないで暗唱できること。
- ・ ある程度滑らかに暗唱できること。

暗唱には、得手不得手がありますので、強制的な取り組みではありません。ただご家庭で励ましていただくことにより意欲的に取り組むと思いますので、よろしくお願いいたします。